

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月10日

**【四半期会計期間】** 第117期第3四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社不二家

**【英訳名】** Fujiya Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 櫻井 康文

**【本店の所在の場所】** 東京都文京区大塚二丁目15番6号

**【電話番号】** (03)5978局8430番

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 千葉 かづや

**【最寄りの連絡場所】** 東京都文京区大塚二丁目15番6号

**【電話番号】** (03)5978局8430番

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 千葉 かづや

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第117期 第3四半期連結 累計期間	第117期 第3四半期連結 会計期間	第116期
会計期間	自 平成23年 1月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 12月31日
売上高 (百万円)	61,020	18,920	62,079
経常損益(は損失) (百万円)	291	47	580
四半期(当期)純損益 (は損失) (百万円)	234	187	379
純資産額 (百万円)		24,651	24,458
総資産額 (百万円)		48,572	50,614
1株当たり純資産額 (円)		95.35	95.50
1株当たり四半期 (当期)純損益金額(は損失) (円)	0.91	0.73	1.47
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)		50.6	48.6
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,331		1,040
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,040		1,533
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	205		9
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)		8,096	6,517
従業員数 (名)		1,583	1,305

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第116期については潜在株式が存在しないため、第117期第3四半期連結累計(会計)期間については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 当社は、平成22年6月25日開催の定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前連結会計年度は平成22年4月1日から平成22年12月31日までの9ヶ月間となっております。

5 第116期は決算期変更により平成22年4月1日から平成22年12月31日までの9ヶ月決算となっております。これに伴い、第116期第3四半期報告書は作成していないため、前第3四半期連結累計(会計)期間については記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年9月30日現在

従業員数(名)	1,583 ( 3,755)
---------	----------------

(注)従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は( )内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成23年9月30日現在

従業員数(名)	1,030 ( 2,343)
---------	----------------

(注)従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は( )内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、商品仕入及び販売の状況】

当社は、前連結会計年度の決算期変更に伴い、前第3四半期報告書を作成していないため前年同四半期比については記載しておりません。

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
洋菓子事業計(百万円)	4,136	
製菓事業計(百万円)	11,518	
合計(百万円)	15,654	

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しておりません。  
2 金額は販売価格によっております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
洋菓子事業計(百万円)	338	
製菓事業計(百万円)	1,088	
合計(百万円)	1,426	

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しておりません。  
2 金額は仕入価格によっております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
洋菓子事業	ケーキ、ベーカリー、デザート等の洋菓子類(百万円)	4,538	
	レストラン(百万円)	1,821	
	計(百万円)	6,360	
製菓事業	チョコレート、キャンディ及びビスケット(百万円)	10,741	
	飲料、乳製品等(百万円)	1,546	
	計(百万円)	12,287	
その他	不動産賃貸収入及び事務受託業務等(百万円)	272	
	計(百万円)	272	
合計(百万円)		18,920	

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間におきまして、新たに発生した事業等のリスクはございません。

前事業年度の有価証券報告書に事業等のリスクとして記載しておりました、当社を被告とした訴訟1件(訴額28百万円)は、平成23年5月24日、東京地方裁判所による和解案を受け容れて訴訟上の和解が成立し、同日付で終了しております。なお、この和解が当社グループの業績に影響を及ぼすことはありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社および連結子会社)が判断したものであります。

## (1) 業績の状況

(注) 決算期変更に伴い、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間に相当する期間は平成22年10月1日～平成22年12月31日となりますが、以下では業績比較を容易にするため実質的な前年同期である平成22年12月期第2四半期連結会計期間(平成22年7月1日～平成22年9月30日)との比較を記載しております。

	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	前年同期 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	対前年 同期比	増減
	百万円	百万円	%	百万円
売上高	18,920	18,218	103.9	702
営業損失	439	728	-	289
経常損失	47	385	-	338
四半期純損失	187	575	-	387

当第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日～平成23年9月30日)のわが国の経済環境は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により厳しい状況が続きました。企業の生産活動や個人消費の持ち直し傾向など、一時、緩やかに回復の兆しが見られたものの、震災復旧の遅れ、世界経済の先行き不安や長引く円高など、景気の先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループが属する食品業界におきましては、大震災の影響から来る消費者心理や個人消費スタイルの変化が消費の低迷や低価格競争を招いております。このような状況の中、小麦粉、砂糖、油脂類など原材料価格の高騰や、大震災後に原材料の供給が不能となったことに加え、計画停電による生産活動の制約などにより収益が圧迫され、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の中で、当社グループは経営トップの強力な意志のもと、福島第一原発事故による夏季の電力供給制限に対して、生産工場における休日の平日への振り替え、夜間への生産シフト切り替えや、ライン・冷凍冷蔵設備の集約、生産設備稼働のための電力の充足を目的として、自家発電機を導入するなどの様々な節電対策につとめ、生産、営業体制への影響を最小限に抑えることが出来ました。

また、消費者の節約志向により激化する販売競争に対応すべく、実質的で徳用感のあるファミリー向け商品の開発、強化を行い、販売拡大につとめるとともに、当社の強みであるネクターなどの既存ブランドを積極的に活用することにより、ブランド力の強化を図り、売上の増加に貢献いたしました。

それに加え、第1四半期連結会計期間より新たに連結した在外子会社である不二家(杭州)食品有限公司では、積極的な販売促進活動が功を奏し、「ポップキャンディ」などキャンディの販売が大幅に伸長し、全社の業績に寄与しました。

この結果、売上高は189億20百万円(対前年同期比103.9%)となりました。

損益面では、管理の徹底によりロスや労務費の削減を図り、生産性の向上につとめましたが、大震災の影響による工場稼働率の低下や、レストラン、洋菓子店における営業時間の短縮、新商品の発売中止で、売上が減少したことにより収益は悪化しました。それに加え、原材料価格の高騰による原価アップや販売促進費の増加などにより、営業損失は4億39百万円(前年同期に比べ2億89百万円の改善)となり、経常損失

は47百万円（前年同期に比べ3億38百万円の改善）、四半期純損失は1億87百万円（前年同期に比べ3億87百万円の改善）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)		前年同期 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)		対前年 同期比	増減
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	4,538	24.0	4,094	22.4	110.8	444
	レストラン	1,821	9.6	1,690	9.3	107.8	131
	計	6,360	33.6	5,784	31.7	109.9	575
製菓事業	菓子	10,741	56.8	10,556	57.9	101.8	185
	飲料	1,546	8.2	1,612	8.9	95.9	66
	計	12,287	65.0	12,168	66.8	101.0	119
その他		272	1.4	264	1.5	102.8	7
合 計		18,920	100.0	18,218	100.0	103.9	702

#### < 洋菓子事業 >

洋菓子チェーン店につきましては、デフレ環境による低価格志向に対応すべく、厳選した原料を使用した「本格生チョコケーキ」やネクターブランドを活かした「ネクターロール」などの1,000円シリーズ商品を積極的に開発し、拡販するとともに、お買い得感のある「999円セール（サンキューセール）」を継続的に実施いたしました。それに加え、季節に対応した商品であるゼリーなどのデザート商品やモンブランなどの新商品の充実を図り、売上を確保することが出来ました。また、量販店や駅ビルなどのダウンタウンへの出店を積極的に推進したことにより、店舗数は、当第3四半期連結会計期間における新設店が16店、閉鎖店が5店で前期末に比べ11店増加し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は675店舗となりました。

この結果、洋菓子販売の売上は前年同期を大きく上回ることが出来ました。

高級洋菓子を取り扱うダロワイヨは、大震災の影響により、百貨店立地に出店している店舗の節電による営業時間短縮で来店客数が減少するなど、厳しい状況で推移しました。この様な状況の中、銀座、心齋橋などの主力店において「ケーキバイキング」の実施や「ミリフィーク」などの新商品を投入する営業施策を展開し、売上の回復を図りましたが、消費者の高級商品の購買意欲減退などにより、売上は前年同期を下回りました。

この結果、ケーキ等の洋菓子類の売上高は45億38百万円（対前年同期比110.8%）となりました。

レストランにおきましては、大震災後の自粛ムードから家庭における食事の機会が増えたことにより外食離れが発生し、特に関東圏において来店客数は減少し、売上は一時大きく落ち込みました。これに対し、「ケーキバイキング」、「バースデーサービス」や人気のあるハンバーグやステーキを取り入れた「スペシャルセットメニュー」などの営業施策を継続的に実施しました。また、既存店の売上増加を目的として積極的な店舗改装を実施することにより、売上の確保につとめるとともに、大震災により大きな被害のあった仙台港の店舗の再開店や「仙台アンパンマン&ペコズキッチン」を7月に開店したことなどによ

り、レストランの売上高は18億21百万円（対前年同期比107.8%）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における洋菓子事業全体の売上高は63億60百万円（対前年同期比109.9%）となりました。

#### <製菓事業>

菓子におきましては、「カントリーマアム」や「ルック」「ミルキー」といった、主力ブランドの強化を図るとともに、営業面では、ファミリー向けで徳用感のある「カントリーマアム」「ホームパイ」「アーモンドチョコレート」など、大袋商品の販売を積極的に行いました。さらに、催事と連動した販売促進策を実施したことに加え、伸長著しいドラッグストア、ディスカウントストアなどの業態に対応した商品提案を積極的に行ったことにより、新たな販売チャネルを拡大し売上増加に貢献しました。それに加え、九州における「カントリーマアム（紫芋）」などの全国各地のお土産商品や、パイと和風の「かりんと」をマッチさせた「ホームパイ（かりんと風味）」など今までに無い品質の新商品開発を推進し、販売施策の強化に取り組みました。さらに、第1四半期連結会計期間より新たに連結した不二家（杭州）食品有限公司の業績が好調に推移したこともあり、菓子売上高は107億41百万円（対前年同期比101.8%）となりました。

飲料におきましては、基幹商品である「ネクターピーチ350g缶」の販売提携先拡大を図りました。さらに、レモンスカッシュ350ml缶」や環境配慮型紙容器のカートカンを使用した「ネクターこだわり白桃」や「ネクターこだわりラ・フランス」の売上が好調に推移したことに加え、既存ブランドを活用した「ミルキーコーンアイス」の売上もありましたが、前年同期が猛暑要因による飲料市場の需要増であったこともあり、売上は前年同期を下回りました。

この結果、飲料売上高は15億46百万円（対前年同期比95.9%）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における製菓事業全体の売上高は122億87百万円（対前年同期比101.0%）となりました。

#### <その他>

主に株式会社不二家システムセンターの事務受託業務の売上及び不動産事業のテナントからの賃貸収入で、売上高は2億72百万円（対前年同期比102.8%）となりました。



## (2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は213億24百万円で、主に売掛債権の減により前連結会計年度末に比べ19億90百万円減少いたしました。固定資産は272億47百万円で、主に投資その他の資産の減により、前連結会計年度末に比べ51百万円の減少となりました。

この結果、総資産は485億72百万円で前連結会計年度末に比べ20億41百万円減少いたしました。

また、流動負債は165億37百万円で、主に仕入債務や未払金の減により前連結会計年度末に比べ26億48百万円減少いたしました。固定負債は73億83百万円で、主に長期借入金の増により前連結会計年度末に比べ4億14百万円増加いたしました。

この結果、負債は合計239億21百万円で、前連結会計年度末に比べ22億34百万円減少いたしました。

純資産は246億51百万円で、主に在外子会社を連結に加えたことにより前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加いたしました。

次に、当第3四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、5億57百万円となりました。これは主に売上債権の増加やたな卸資産の増加によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億70百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億37百万円となりました。これは主に借入金の新規約定によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、80億96百万円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はございません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における研究開発活動の金額は、56百万円であります。なお、当第3四半期連結会計期間におきまして、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はございません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、売却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	257,846,590	257,846,590	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	257,846,590	257,846,590		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年9月30日		257,846,590		18,280		4,876

#### (6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

#### (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

##### 【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 67,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 25,000		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 257,510,000	257,510	同上
単元未満株式	普通株式 244,590		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	257,846,590		
総株主の議決権		257,510	

(注) 1 「単元未満株式」欄には自己株式984株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が8,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数8個が含まれております。

#### 【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社不二家	東京都文京区大塚二丁目 15番6号	67,000		67,000	0.03
(相互保有株式) 日本食材株式会社	埼玉県さいたま市中央区 本町西六丁目4番22号	25,000		25,000	0.01
計		92,000		92,000	0.04

## 2 【株価の推移】

### 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	170	160	166	138	144	141	159	159	154
最低(円)	152	149	90	122	131	125	139	128	141

(注) 最高・最低株価は東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

## 3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の様動はありませ  
ん。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、当第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

平成22年6月25日開催の第115期定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認され、事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更しました。その経過措置として、前連結会計年度は、平成22年4月1日から平成22年12月31日までの9ヶ月間となっております。これに伴い、前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,178	6,623
受取手形及び売掛金	7,655	11,642
商品及び製品	3,361	3,219
仕掛品	275	247
原材料及び貯蔵品	1,623	1,514
繰延税金資産	28	8
その他	546	515
貸倒引当金	346	456
流動資産合計	21,324	23,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1 6,734	1 6,943
機械装置及び運搬具(純額)	1 6,315	1 6,198
土地	2,847	2,847
リース資産(純額)	1 1,559	1 1,468
その他(純額)	1 653	1 458
有形固定資産合計	18,110	17,917
無形固定資産	321	363
投資その他の資産		
投資有価証券	5,911	5,773
繰延税金資産	55	49
敷金及び保証金	2,229	2,249
その他	839	1,158
貸倒引当金	219	212
投資その他の資産合計	8,816	9,018
固定資産合計	27,247	27,298
資産合計	48,572	50,614

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,189	6,543
短期借入金	4,594	4,478
1年内償還予定の社債	354	354
リース債務	376	332
未払金	3,445	4,748
未払法人税等	271	115
賞与引当金	573	244
店舗閉鎖損失引当金	22	36
その他	1,709	2,331
流動負債合計	16,537	19,185
固定負債		
社債	1,438	1,687
長期借入金	2,456	1,789
リース債務	1,318	1,293
退職給付引当金	1,604	1,576
負ののれん	1	1
その他	564	622
固定負債合計	7,383	6,969
負債合計	23,921	26,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	5,070	5,070
利益剰余金	1,416	1,406
自己株式	14	14
株主資本合計	24,751	24,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	112
繰延ヘッジ損益	7	13
為替換算調整勘定	33	-
評価・換算差額等合計	173	125
少数株主持分	73	157
純資産合計	24,651	24,458
負債純資産合計	48,572	50,614

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	61,020
売上原価	33,350
売上総利益	27,669
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 27,925
営業損失( )	256
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	37
持分法による投資利益	519
その他	111
営業外収益合計	682
営業外費用	
支払利息	92
その他	42
営業外費用合計	134
経常利益	291
特別利益	
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6
その他	0
特別利益合計	7
特別損失	
固定資産廃棄損	46
貸倒引当金繰入額	6
災害損失	<sup>2</sup> 169
その他	7
特別損失合計	230
税金等調整前四半期純利益	68
法人税、住民税及び事業税	266
法人税等調整額	24
法人税等合計	242
少数株主損益調整前四半期純損失( )	173
少数株主利益	61
四半期純損失( )	234



【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	
売上高	18,920
売上原価	10,341
売上総利益	8,579
販売費及び一般管理費	9,018
営業損失( )	439
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	15
持分法による投資利益	394
その他	19
営業外収益合計	436
営業外費用	
支払利息	31
その他	12
営業外費用合計	44
経常損失( )	47
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
その他	0
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産廃棄損	6
その他	1
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純損失( )	52
法人税、住民税及び事業税	126
法人税等調整額	12
法人税等合計	113
少数株主損益調整前四半期純損失( )	165
少数株主利益	21
四半期純損失( )	187

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年1月1日  
至平成23年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	68
減価償却費	2,435
賞与引当金の増減額（は減少）	328
持分法による投資損益（は益）	519
災害損失	169
売上債権の増減額（は増加）	4,186
たな卸資産の増減額（は増加）	162
仕入債務の増減額（は減少）	1,567
未払金の増減額（は減少）	1,384
その他	348
小計	3,206
利息及び配当金の受取額	419
利息の支払額	99
法人税等の支払額	124
災害損失の支払額	70
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,331</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	76
定期預金の払戻による収入	198
投資有価証券の取得による支出	5
固定資産の取得による支出	2,188
固定資産の売却による収入	29
その他	2
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,040</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（は減少）	438
長期借入れによる収入	1,296
長期借入金の返済による支出	950
社債の償還による支出	249
割賦債務の返済による支出	38
リース債務の返済による支出	289
その他	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>205</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>3</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,493
現金及び現金同等物の期首残高	6,517
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	85
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>8,096</b>

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当3 第四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 前連結会計年度において、非連結子会社でありました不二家（杭州）食品有限公司は、重要性が増したため、第1 四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 6社

【表示方法の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3 四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)								
1 有形固定資産の減価償却累計額は、57,594百万円です。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、55,496百万円です。								
2 保証債務 連結会社以外の関係会社の金融機関の借入に対する保証	2 保証債務 連結会社以外の関係会社の金融機関の借入に対する保証								
<table border="0"> <tr> <td>    (株)ユトリア不二家</td> <td style="text-align: right;">27百万円</td> </tr> <tr> <td>    計</td> <td style="text-align: right;">27</td> </tr> </table>	(株)ユトリア不二家	27百万円	計	27	<table border="0"> <tr> <td>    (株)ユトリア不二家</td> <td style="text-align: right;">33百万円</td> </tr> <tr> <td>    計</td> <td style="text-align: right;">33</td> </tr> </table>	(株)ユトリア不二家	33百万円	計	33
(株)ユトリア不二家	27百万円								
計	27								
(株)ユトリア不二家	33百万円								
計	33								
取引先の営業債務に対する保証	取引先の営業債務に対する保証								
<table border="0"> <tr> <td>    (株)ジェフグルメカード</td> <td style="text-align: right;">30百万円</td> </tr> <tr> <td>    計</td> <td style="text-align: right;">30</td> </tr> </table>	(株)ジェフグルメカード	30百万円	計	30	<table border="0"> <tr> <td>    (株)ジェフグルメカード</td> <td style="text-align: right;">30百万円</td> </tr> <tr> <td>    計</td> <td style="text-align: right;">30</td> </tr> </table>	(株)ジェフグルメカード	30百万円	計	30
(株)ジェフグルメカード	30百万円								
計	30								
(株)ジェフグルメカード	30百万円								
計	30								

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	
1 運賃及び倉庫料	3,551百万円
2 販売促進費	10,634
3 広告宣伝費	1,092
4 水道光熱費	385
5 地代家賃	1,759
6 給料及び手当	4,924
7 賞与引当金繰入額	316
8 退職給付引当金繰入額	473
9 委託業務費	856
2 東日本大震災による損失額であり内訳は次のとおりであります。	
たな卸資産廃棄損	77百万円
生産設備等の修繕費	24
その他	67
計	169

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	
1 運賃及び倉庫料	1,172百万円
2 販売促進費	3,175
3 広告宣伝費	394
4 水道光熱費	145
5 地代家賃	580
6 給料及び手当	1,598
7 賞与引当金繰入額	169
8 退職給付引当金繰入額	158
9 委託業務費	275

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目との関係	
	(百万円)
現金及び預金勘定	8,178
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	82
現金及び現金同等物	8,096

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日  
至 平成23年9月30日)

- 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 257,846千株
- 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 80千株
- 配当に関する事項  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,374	40,827	60,202	817	61,020		61,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	463	463	503	967	967	
計	19,374	41,291	60,665	1,321	61,987	967	61,020
セグメント損益(は損失)	941	2,270	1,328	111	1,440	1,696	256

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(は損失)の調整額 1,696百万円には、固定資産減価償却費の調整額14百万円、その他の調整額12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 1,723百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,360	12,287	18,648	272	18,920		18,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	178	178	167	346	346	
計	6,360	12,465	18,826	440	19,266	346	18,920
セグメント損益(は損失)	393	505	112	18	131	570	439

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(は損失)の調整額 570百万円には、固定資産減価償却費の調整額4百万円、その他の調整額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 574百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

#### 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)において該当事項はありません。

##### (金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

##### (有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

##### (デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

##### (ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

##### (企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

##### (資産除去債務関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

##### (賃貸等不動産関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

賃貸等不動産において、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 95.35円	1株当たり純資産額 95.50円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	24,651	24,458
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (百万円)	24,578	24,616
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株 当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 に係る四半期末(期末)の純資産額との差額の 主な内訳(百万円)		
少数持主持分	73	157
普通株式の発行済株式数(千株)	257,846	257,846
普通株式の自己株式数(千株)	80	79
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半 期末(期末)の普通株式の数(千株)	257,766	257,767

2 1株当たり四半期純損失金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 0.91円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額に ついては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株 式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
四半期純損失(百万円)	234
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	234
期中平均株式数(千株)	257,766



当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	0.73円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
四半期純損失(百万円)	187
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	187
期中平均株式数(千株)	257,766

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

リース取引残高は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社不二家  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川井 克之

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 薬袋 政彦

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 島村 哲

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社不二家の平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年1月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社不二家及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。